



# 頑張るぞ！県勢心一つ

## スケート国体きょう開幕

長野

第72回国民体育大会冬季大会「ながの銀嶺国体」のスケート・アイスホッケー競技会が27日、「氷雪に かがやけ君の 技ちから」をスローガンに長野県で開幕する。大会には44都道府県から監督、選手ら1699人が

参加。競技開始の前に、本県選手団は26日、スケート、アイスホッケー競技に分かれて結団式を行い、健闘を誓った。本県選手団は澤内和興県体協副会長を団長に役員・監督ら32人、選手59人の計91人が参加し、全

国の精鋭と熱戦を繰り広げる。スケートの結団式は長野市の「ホテル国際21」で行い、約35人が参加。澤内団長が、開始式で旗手を務めるスピード成年男子の松尾和明(吉田産業)に県旗を手渡し、「今まで練習してきたことを全て出し切り、目標を達成できるよう最後まで諦めずに頑張ってください」と激励。選手たちは「頑張るぞ」と気勢を上げた。

### 31歳ベテラン気合

○：スピードの結団式で澤内団長から県旗を受け取った成年男子の松尾(吉田産業)は、本県選手最年長の31歳。国体出場16回目のベテランは「県の代表として、みんなで1点でも多く取りた

い」と闘志を燃やした。今大会は500メートルと2000メートルに出場予定。前回は500メートルで、数大会ぶりに予選を通過し準決勝に進んだ。今大会に向けては仕事を終えた後、週2、3日練習を重ねて調子を整えてきた。「自分の滑りをして、もっと上にいければラッキー。少年男子に負けな

ように頑張りたい」と笑顔で話した。アイスホッケーの結団式は岡谷市の「やまびこスケートの森アイスアリーナ」で行い、選手たちは戦いに向け気合を入れた。

結団式で気勢を上げる本県スケート選手団(26日、長野市内)

笑顔を話した。

27日午前は長野市芸術館で開始式を実施。県勢はフィギュア少年女子の

ショートプログラムに大澤(三沢)、廣谷(八工大)が出場する。(本田海輝)